

SINAPIS

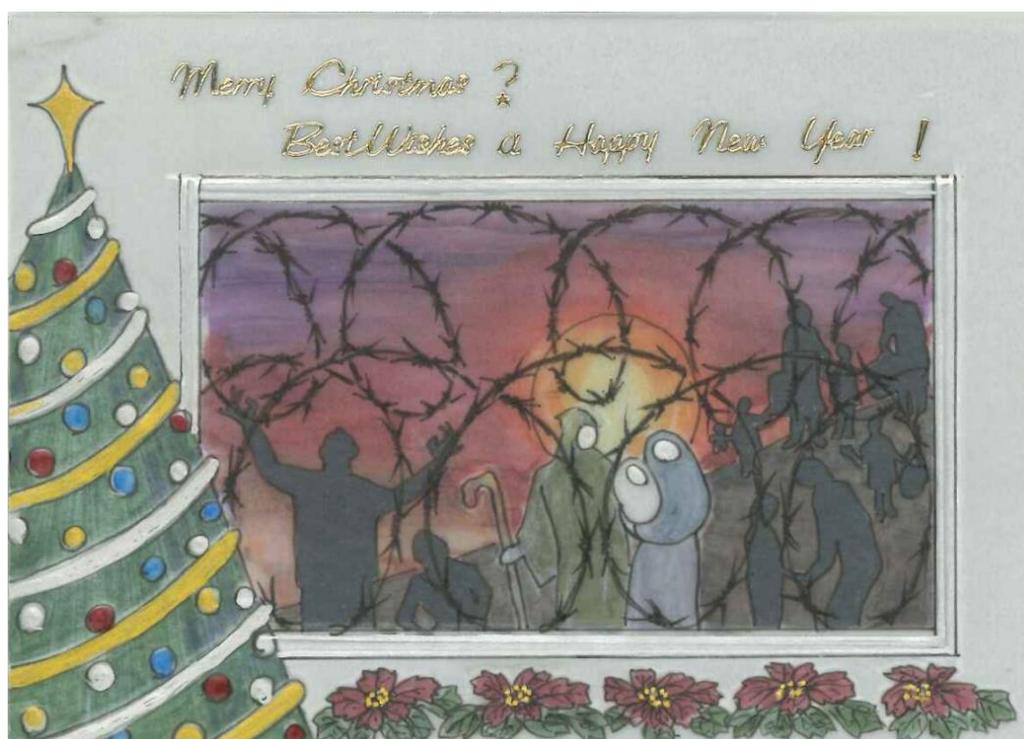
社会活動センター・シナピスは平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援します

月刊シナピスニュースレター

年間テーマ ～ 平和を目指してともに歩もう ～

Vol.
92

2023
クリスマス



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

カトリック大阪高松大司教区
社会活動センター・シナピス

TEL/06-6942-1784 FAX/06-6920-2203

Email/sinapis@osaka.catholic.jp

ホームページ/<https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

表紙の絵：石井 望 神父

今年も一年間、
ありがとうございました。
～祈りと感謝をこめて
シナピススタッフ一同



社会福音化部門長から クリスマスメッセージ

カトリック大阪高松大司教区
パウロ 酒井俊弘 補佐司教

去る10月に、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラへ115キロメートルを歩く巡礼をする機会がありました。

ほぼ毎日雨が降る中でしたが、カテドラルに到着した時の充実感はそれに見合ったものでした。そういった中で、困ったことのひとつが「臭い」でした。牛小屋の近くを通ると、強烈な臭いだけでなく、臭いの元が道に転がっていることも…。

そういうときに頭に浮かんだのは、「布にくるんで飼い葉桶に寝かせた」（ルカ2:7）というシーン。父なる神は救い主がいつ、どこで、どのように生まれるのかを考えた結果、家畜小屋を選ばれた…。マリア様とヨセフ様は精一杯の努力をされたでしょうが、場所柄の臭いだけはどうしてもなかっただろうなあ…と思いあたりました。

神様が本当に大切にしたいことは何なのか、私たちが本当に大切にしているものと同じなのか…、そう自問しながらクリスマスをお祝いしたいものです。



アベイヤ司教から クリスマスの挨拶

カトリック福岡教区司教
ヨゼフ・アベイヤ

福岡教区のヨゼフ・アベイヤです。

『シナピスニュース』を通して、毎月皆さんとのつながりを保ち続けていけることは、とても嬉しく思います。よろしければ、これからも続けさせていただきたいと思います。

私たちの心に響く現代社会の様々な課題を、祈りのうちに思いめぐらし、キリスト者として、それらに関わる知恵を神様に願うことが大切です。

そこから、諦めることのない活動が生まれてきます。

新しい年を迎えて、希望をもって歩み続けていきましょう。

☆アベイヤ司教は、2020年に福岡に移られてからも毎月『シナピスニュース』の「今月の祈り」を送り続けてくださっています。
大阪高松大司教区のことを気遣ってくださいまして、ありがとうございます。
感謝です！

シナピス運営委員から

クリスマスメッセージ



シナピスセンター長

松浦 謙神父

今年の教区インターナショナルデー交流会で、大勢の人がマイケル・ジャクソンの「Heal the world」を歌いました。

試訳をクリスマスの平和と希望のメッセージとして届けます。



“君の心にある一つの場所。僕は知ってる。それは愛。…恐怖なき世界を作ろう。
そして一緒に幸せな涙を流そう。この目で見よう、剣を鋤に持ちかえていく世界を。
僕らはきっとそこに辿り着けるさ。いのちを大切に思えば！この世界を癒そう。
そしてより良いものにしよう。君のため。僕のため。そして人類みんなのために！”

日本で初めての「主の降誕夜半のミサ」

カリタスジャパン担当 松永 敦神父



記録に残っているもので、日本国内で捧げられた最初のミサは1552年山口周防での「主の降誕夜半のミサ」です。歌ミサだったそうです。今年もご降誕を祝える幸せをあらためて神様に感謝しましょう。また、ミサに来たくても何らかの理由で来られない方々のためにも祈りましょう。

愛と善意の目覚めの時

部落差別人権委員会担当 長崎 壮神父

主の御降誕おめでとうございます。

人々の平和が脅かされている世界情勢のなか、今年も降誕祭を迎えました。御降誕の馬小屋のまぐさ桶を見ると、そこには周囲の人の善意なしに育っていくことのできない無垢な幼子の姿があります。幼子イエスは私たちの心に眠っている愛と善意を目覚めさせてくれます。これからの一年、あらたに出会う人と愛と善意をもって関わり、希望の光を灯すことができますように。





Dolce Sentire (やさしい気持ち)

外国語司牧責任者 デンニ・ワユディ神父

主のご降誕おめでとうございます。

アシジの聖フランシスコの“Fratello sole, sorella luna”（太陽はお兄さん 月はお姉さん）というイタリア語の歌をクリスマスのメッセージにいたします。

その歌詞の中にあるように、世界平和とイエスが神様の愛の贈り物になりますようにと祈りましょう。この歌は Dolce Sentire (やさしい気持ち) です。沈黙しながらこの歌詞を読んでみましょう。

♪ Dolce Sentire (やさしい気持ち) ♪

やさしい気持ち 心の中に 今つつましく 愛が生まれる
嬉しい悟り 孤独じゃないよ ぼくも大きな 生命（いのち）の仲間
周りには 輝くみ恵み 神様の 愛の贈り物
大きな空と 明るい星たち 太陽はお兄さん 月はお姉さん
花咲き実る 母なる大地 火と風と 大気と水
溢れる生命 皆は家族 神様の愛の贈り物

https://www.youtube.com/watch?v=65P_8xtvA1Q

HAPPY CHRISTMAS 〈WAR IS OVER〉

障がい者委員会委員長 石井 望神父

「クリスマスの飾り付けや祝いの準備に時間と労力を使えばつかうほど、本来のキリスト降誕のメッセージから遠のいて、却って妨げになっていると感じます。かつてある人から、『クリスマスソングなら〈これ！〉』と勧められて、ジョン・レノンの〈ハッピークリスマス (war is over)〉を毎年聞くようになりました。わたしの〈押し〉です。」



「闇の中を歩む民は、大いなる光を見た」(イザヤ9・1)

船員司牧・こども基金担当

エリック・パウチスタ・デ・グスマン神父



日々の生活の様々な悩みや忙しさなどで、心が鈍くなる人々にとって、主のご降誕は、大きな喜びと新たな希望をもたらします。飼いや桶の中にいる幼子は、私たちに真の平和と傷ついた心の癒しを与えてくださいます。

旧約時代の神の民が、救い主の到来を待ち望んでいたように、それに向けて良い準備をしましょう。今年のクリスマスも、有意義に迎えられるように。メリークリスマス！

ワタシたちハニングダ！

日本カトリック難民移住移動者委員会担当

英^{はなぶさ} 隆一郎神父

小さい人びとはこの社会では人間としての存在が隠されていて、
あたかも存在しないように扱われてしまう。

大震災の直後、避難所には障がい者の居場所はなかった。
実際、見捨てられていた。

コロナ危機の際、野宿者はワクチン接種も給付金ももらえなかった。

肝心な時、人間として存在していないかのように扱われる。

そして、技能実習生や難民申請者などの滞日外国人の実態も隠されたままだ。

彼らの叫び声が声にならないまま、今も響いている。

「ワタシたちハニングダ！」と。

その声を聞いて、真摯に関わる時、初めて人間が現れてくる。

人間と人間がかかわる場が社会であり、教会だ。

すべての人が人間として生きることができますように。



共にいてくださるイエス様に信頼して

守護の天使の姉妹修道会 去来川 久代



わたしが 共にいる 治らなくても よいではないか
わたしが 共にいる 長患いでも よいではないか
わたしが 共にいる 何も出来なくても よいではないか
わたしが 共にいる それでよいではないか
或る晩 キリストが そう言って下さった

若くして四人の子どもと夫を残して帰天した牧師夫人の残した詩。「左近潔著作集」より

クリスマスは、どのような現実の中にも、もうすでに共にいてくださるお方への深い気づきの時。
黙想会での話で心に残りました。

希望のうちに共にいてくださるイエスさまに信頼して歩いていきましょう。

六甲教会 宮内 陽子

まぶねの中のおさなごは温かく、柔らかく、まったく無防備でした。

王の迫害のため、おさなごは産後間もない母に抱かれ、父に守られながらエジプトに逃れました。

私たちもかつては温かく柔らかく無防備な存在でした。

そして誰かに守られて大きくなり、今ここにいます。

アドベントのこの時期、まぶねの中のおさなごを目にすると、

しみじみとそのことを思います。

すべての人が守られる世の中にしたいとつくづく思います。



互いに愛し合いなさい



社会活動神戸センター 木谷 公士郎

3年にわたるコロナ禍による休止を経て、この12月2日カトリック神戸地区のみなさまが当センターの野宿者支援活動を支えるためのチャリティコンサートを再開してくださいました。休止前の大きく上回る募金が寄せられ、みなさまの温かいお気持ちに感謝とともに身の引き締まる思いを新たにいたしました。

コンサート会場である神戸中央教会主聖堂の入り口には「互いに愛し合いなさい」というみことばが刻まれています。主は続けて「互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる」とおっしゃいます。(あえていえば聖堂の十字架、ステンドグラスや馬小屋、それらはもちろん大切なものだとしても、それ以上に)「互いに愛し合う」姿こそが、教会であることの核心的特徴であるということでしょうか。

パレスチナ・ガザ地区をはじめ空前の人道危機と戦争・紛争が世界中に拡大する中、このクリスマスの時期にその意味をあらためてかみしめたいと思っています。主の御降誕おめでとうございます。



世界の人々に平和を！

和泉教会 新田 良子

「いと高きところでは、神に栄光があるように、

地の上では、み心にかなう人々に平和があるように」 (ルカ2:14)

暗く悲しい現実の中で、救いの光があることを心にとめて、日々の生活を送りたいです。そして、世界の人々に平和があるように祈ります。

夙川教会 西口 信幸



「入管法」で年明けを、降誕の地「パレスチナ」の平和への祈りで待降節を過ごすこの年、力ある者が支配し、小さないのちへの尊厳が次第に失われつつある今こそ、粘り強く私たちを励ます教皇フランシスコに希望と元気をいただいて、諦めることなく、小さな平和の種を蒔く、祈りのキリスト共同体となりますように。

『平和はいつも可能であり、平和の根底にあるのはわたしたちの祈りです。平和を広めるのは祈りです。』

阿倍野教会 嶋田 至

コロナ禍が明けたものの、私たちの社会をめぐるさまざまな問題はますます複雑化し、解決の糸口がだんだん見えにくくなっているように思います。このようななか、お祝いメッセージを考えることに違和感しか感じない自分に、ちょっと驚いています。

とはいうものの、だからこそキリストのご降誕を祝うのでしょ。私たちは孤立しておらず、ともに集うなかで神様に守られているのだと感じるとき、困難な道でも前に進む力が湧いてくるのだらうと思います。クリスマスおめでとうございます。

シナピススタッフから クリスマスメッセージ



産みの苦しみを思うクリスマス

ビスカルド 篤子

私が出産した時のことです。陣痛が強まっているのに胎児に臍の緒が絡まって手こずり、私は高熱と高血圧をひき起こし、急遽帝王切開に切り替えたのでした。あの日、「不衛生な馬小屋で産婆さんもいなかったマリアさん」を思い、どれほど恐怖に耐えながら辛いお産を体験しただろうと想像したのを今でも覚えています。クリスマスには特別に祈ります。安心安全に出産できない女性をひとりでも減らせるように私たちに力をお与えください。



山田 直保子

「もう12月か！」と、何かやり残したという感覚がざわざわと襲ってきます。例年通り、シナピスホームで難民移住者と一緒にクリスマスの飾りつけをしていた時、「もう一年経った。早いなあ」と口にするのと、ある人が言いました。「私たち何も変わらなかった…」と。在留許可も出ず、彼らの状況は何も改善されませんでした。この「やり残した」という感覚がなぜ起きるのか、当事者たちが教えてくれたような気がします。「すべての人の心に平等に平和をお与えください。いつか心から笑顔でクリスマスが迎えられますように」と、祈らざるをえません。



岡田 雅代

いつもシナピスニュースをお読みいただき、またさまざまな形でご支援をいただきまして、ありがとうございます。

「コロナのせいで△△になってしまった」と、つつい呟いてしまいがちですが、来年は心あらため「コロナのおかげで〇〇になったので良かった」と、前向きな気持ちを耕していきたいと思います。

そして、ほんの僅かでも世界の平和のために働く者となれるように願ってまいります。



Merry Christmas

Azzi Roqia

Let the lights of Christmas guide you toward true Christianity,
may the teaching of Christmas enlighten your soul with heavenly wisdom.
On this magical day, may God send you boundless joy and success.
May he also guide you toward heaven.
I want to wish you all an ocean of smiles and kindness,
prosperity and wellbeing, love, and care.
Merry Christmas.



メリークリスマス！

アジジ ロキア

クリスマスの輝きが、あなた方を本当のキリストの教えへと導き、
クリスマスの教えが、あなた方の魂を神の英知へと導いてくださいますように。
この神秘的な日に、神があなた方に限りない喜びと実りをくださいますように。
また、あなた方を天国へと導いてくださいますように。
あなた方が、たくさんの笑顔と優しさ、そして豊かさと健康に恵まれ、
愛と慈しみに満たされますようにとお祈りいたします。
クリスマスおめでとうございます。



今年を振り返って そして 来年へ

カトリック障がい者委員会委員（芦屋教会所属）内野 直幸

私は視覚障がい者です。全盲です。今年もいろいろなことがありました。まず、母校の盲学校の同窓会の新しい体制が始まり、私はその会長として、同窓会を牽引していくことになりました。今の時代、大勢の人が集まって何かをするということがとても難しく、これから大変だとは思いますが、今すぐでなくても、先々同窓会が良い方向に向かうものと信じています。全盲の私がどこまでできるかわかりませんが、頑張ります。

教会関係では、受堅する方たちへの堅信準備講座の講師の一人として、初めて講師を担当いたしました。視覚障がいを持つ私は、始まる前はとても緊張して「ちゃんと喋れるだろうか」と心配していましたが、始まってみたら話が膨らんでいき、しゃべりすぎるほどになりました。良い講座ができたと思います。ちなみに、全盲者が堅信講座の講師を担当するのは、私が初めてだったそうですが、うまく行って良かったです。

7月下旬から8月の中旬まで、少し体調を崩して、3週間療養いたしました。その後回復し、10月には視覚障がい者を招待して行われた歌手のコンサートに行きました。

このコンサートは毎年10月に行われていますが、コロナ禍の4年間には開催されていませんでした。4年ぶりのコンサートはとても迫力があり、視覚障がい者の私は優しい歌声に感動いたしました。その時の会場スタッフの方の視覚障がいを持つお客様に対するの対応がとても親切で、気持ち良かったです。私はガイドヘルパーと参加しましたが、スタッフの方が会場の入口から座席まで案内してくださり、「大丈夫ですか？ゆっくり楽しんでくださいね」と声をかけてくださいました。帰る時も、「ありがとうございました。どうぞお気をつけてお帰りください」と言ってくださり、嬉しかったです。やはり、私のような全盲者にとっては、健常者から声をかけてくださることが一番嬉しいです。

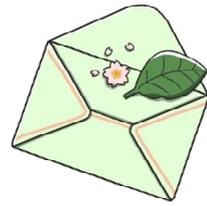
さて、2003年12月から教会に通い始めて、今月でちょうど20年になります。私は生まれて7か月の時にカトリックの幼児洗礼を受けましたが、その後肺炎に罹り、5歳の誕生日に突然失明し、それからはいろいろ大変だったことと、病気やその他の事情で、33年7か月もの長い間、教会には行けませんでした。2003年12月から教会に行きはじめて2回目の時に、教会でクリスマスパーティがあり、「じゃんけん大会をして1位になった人に大きなクリスマスツリーをプレゼントします」と係の人がおっしゃいましたので、私は思い切って参加しました。20人を超える人でじゃんけん大会が始まり、私はあれよあれよと言う間になんと決勝まで進み、決勝戦で1位になり、自分の背丈ほどもある大きなクリスマスツリーをプレゼントされました。1位になれたことの喜びが沸き上がり、「教会って視覚障がい者の私にとって楽しくて温かいところだなあ」と感激しました。

来年1月からは、私が教会に行きはじめて1年前に始まった祈りの集い「ロザリオの祈り」と「十字架の道行き」がこれまでの隔週水曜日の開催から、毎週水曜日の開催に変わります。また、日曜日にもミサ前にロザリオの祈りをするのを計画しています。私は、視覚障がい者として、この祈りの集いのお手伝いをしていますが、ますます発展していくことを願っています。また来年も、堅信準備講座を担当することになっています。

その他、多数の教会活動に、視覚障がい信者として参加して頑張ります。そして、視覚障がい者の立場でいろいろな意見を言っていき、教会をますます良い方向に変えていきます。来年も、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



シナピスホーム便り



シナピス事務局 山田 直保子

シナピスホームは、2023年12月2日で3周年を迎えました。これもひとえに支援してくださっている皆様のおかげです。本当にありがとうございます。偶然にも12月2日は土曜日で、カフェ開催日でしたので、ランチ日として、カフェで活躍している難民移住者が力を合わせて協力し合いながら、いつもよりちょっぴり豪華なランチになりました。ランチ以外にもケーキをスポンジから手作りして、2段のスペシャルホールケーキを作りました。当日はバタバタとしていて、写真を撮る暇がなかったので残念でしたが、いつもの常連さんや生野教会の申神父様、ブラザーやシスター、近所のご夫婦などたくさんの方に祝っていただき、とても心が温まる1日になりました。

皆さんが同じ時間に帰られるわけではないので、一部のお客様だけでしたが、最後に申神父様に祝福をお願いして、みんなでお祈りをいたしました。



今年のシナピスホームもいろいろなことがありました。シナピスの特徴として、難民移住者には自立してもらわないといけないということが念頭にありますので、いつも同じメンバーではありません。シナピスホームを盛り立てていくためには、慣れたメンバーが、次の新しいメンバーに教えていきます。そのために一から教えていく作業が山のようにあります。そこに言葉の壁があったり、文化の違いがあったり苦勞も絶えませんが、やはりお客様が直接声をかけてくださったり、以前作った料理を指名で大量注文をしてくださったりすることが大きな喜びや力になっているとつくづく感じています。

以前からシナピスにかかわって難民の裁判を支援してくださっている弁護士たちの忘年会をホームでしようと、腕によりをかけているいろんな種類の料理を作り、日頃お世話になっている先生たちにみんなで振る舞いました。バザーも多数開催され、教会内外でも出店して、難民移住者たちの料理が確実に浸透していていることがわかった1年でもありました。



これからも難民移住者たちがおもてなしするカフェとして地域の皆さんに愛されるカフェにしていこうと思っています。これからも、どうぞよろしく願いいたします。素晴らしいクリスマスとお正月をお迎えください。



西日本難民弁護団の忘年会でふるまわれた エスニック料理



「料理がとてもおいしくて、素晴らしかった！と
嬉しいお便りをいただきました！」



越年越冬のお知らせ 釜ヶ崎&神戸

◆◇◆釜ヶ崎より◆◇◆

コロナ禍を経て、ウクライナ戦争と輸出大企業のために強引に作られてきた円安基調は、さらに円安ドル高を加速させ、とどまるところも知らずに急激な高騰を引き起こし、労働者・市民の生活を直撃し、圧迫しています。

この10月7日には、長年のイスラエルの占領と「入植」という名の土地略奪・占領政策に対する反撃とこれへの報復で多くの参戦闘員の犠牲が出ています。とりわけイスラエル政府のパレスチナ人に対する報復は、閣僚の民族浄化を目指す発言のもとに集団的懲罰という国際法違反の攻撃であり、アパルトヘイトの逃げ場のない壁の中で水や食料、電気を止め、病院や避難場所への容赦のない攻撃として、子どもや病人を含む市民への大量虐殺となっています。そして、それはさらに進められようとしています。

日本政府においては、「台湾有事」などという言葉が作られ、これまでの「一つの中国」を投げ捨てて中国との戦争を煽り、軍備増強・南西諸島全域の要塞化を推し進め、市民の生活を犠牲にした大增税を行なっています。まさに「戦争の時代」がやってこようとしています。

こうした状況の中でも、野宿をせざるを得ない仲間はあるし、センター建て替えに伴い寝場所を失う仲間もいます。今年も越冬闘争は行われます。

私たちは「釜ヶ崎へ行けば何とかなる」という想いに応え続けてきた、この街の良さ「多くの人たちの想い」=「伝統」を守ることによって、今この街に暮らす仲間と共に、これからも流れ着くであろう仲間たちを守っていければと思います。目の前で仲間たちが餓死・凍死するのを防ぐとともに、誰もが「野宿をしなくてもよい街」、仕事を望めば「誰もが働ける街」、「安心して働き、生活できる街・釜ヶ崎」を目指して越冬闘争をします。すべての人にとって優しく、住みやすい街となるように「人権と平和」を求めて、それに反するような行政施策・国の政治を見据えながら、仲間たちの団結を創り出し、声を上げていく越冬闘争になることを願っています。

三角公園にて開催します。

- 突入集会 12月28日(木) 18時00分
- 炊き出し 12月28日(木) ~1月3日(水)
- 医療パトロール 12月28日(木) ~1月3日(水) 集合21時45分
- 人民パトロール 12月30日(土) ~1月3日(水) 出発20時
- 餅つき大会 1月2日(火) 9時~
- のど自慢大会、ソフトボール大会、卓球大会などを企画中

越冬期間中〈12月28日~1月4日〉のご支援もよろしくお願ひします。

■資金で協力：多額の資金が必要です。

【振込先】①みずほ銀行 難波支店 普通口座 1387094 釜ヶ崎実行委員会代表山田実

②ゆうちょ銀行 記号154110 番号33722521 釜ヶ崎実行委員会

〔他金融機関から振込の場合〕

③ゆうちょ銀行 418支店 普通預金 3372252 釜ヶ崎実行委員会

④郵便振替口座 00960-4-108331

■物資で協力：次のような物資が必要です。ご協力をお願いします。

☆マスク、消毒用アルコール、消毒用ティッシュなど

☆炊き出し用：米、もち米、お米券、調味料、野菜、その他食料

☆防寒用：寝場所、寝袋、成人男性用の衣類・防寒着・下着・靴下・カイロなど

☆石鹸、タオルなどの日常生活用品

【物資の送付先】 〒557-0004 大阪市西成区菟之茶屋1-9-7

第54回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会(代表 山田実) TEL:06-6632-4273



◆◇◆カトリック社会活動神戸センターより◆◇◆

第29回越年・越冬を下記の日程で行います。

ボランティア参加ご希望の方は事前に当センターまでご連絡ください。

(☎ 078-271-3248)

(神戸) 2023年12月28日(木)～2024年1月4日(木)

時間：午前10:00～午後3:00頃 (テントの設営、炊き出しの準備等)

場所：東遊園地花時計広場(神戸市役所南端) 神戸市中央区加納町6丁目



(尼崎) 2024年1月6日(土)～1月8日(月)

時間：午前10:00～午後2:00頃 (テントの設営、炊き出しの準備等)

場所：尼崎・橋公園(尼崎市役所東) 東七松町1丁目I-1



主催：越冬越年実行委員会

内容：「炊き出し」「生活相談」「医療相談」「法律相談(弁護士・司法書士)」「追悼の日」(12/29 予定)

※カンパもよろしくお願ひいたします

(「越年越冬のために」とお書き添えください。)

郵便振替 00910-5-141408(カトリック社会活動神戸センター)

2023年の「こども基金」と「難民移住者とのかかわり」をふりかえる

【こども基金】

今年の目玉は何といても「こどもの権利を知るキャンペーン」を実施したことです。

「こどもの権利がないがしろにされている現実を見、こどもの叫びに耳を傾け、そして動こう」——そんな思いを込めて、こどもの権利を知る活動を応援するために基金から助成金を出すことにしたのです。期間は、1月29日の「世界こども助け合いの日」から5月5日の「こどもの日」までの125日間でした。

チラシを配って案内を出したところ、キャンペーンに応募したのは3団体でした。

☆2月12日：「仮放免の若者たち MさんSさんの声を聴く会」 会場：仁川教会

☆3月4日：映画「東京クルド」上映会と関西地区の当事者を交えた分かち合い

会場：夙川教会

☆5月7日 映画「さとにきたらええやん」上映会と「こどもの里」館長さんのトーク

会場：なみはや教会

キャンペーンの反省点は、呼びかけたのが遅く、広く周知されなかったことでした。応募団体が少なかったのは残念でしたが、いずれも青少年の生の声を主軸にした内容の濃い啓発活動となりました。



2023年のこども基金支援先

☆Roof for Hope へ 400,000円

アフガニスタン西カブールの極貧地域の子どもたちの越冬支援として約300人のこどもたちへ、小麦粉・薪・防寒着を支給

☆認定NPO法人こどもの里へ 220,000円

家庭への食糧の配達。学校、自宅への送迎のための電動自転車

【小さな啓発運動からつながる「正義と平和」の行い】

「こどもの権利を知るキャンペーン」を利用して開催された映画上映会や当事者の声を聴く集会は、それぞれ小ぢんまりしたものに見えましたが、そこから広がる行動は大きいものでした。ドキュメンタリー映画を觀賞し、当事者の生の声を聴いた200人近くの人たちは、そこで現実社会を知り、祈りをともなう行動につながってゆきました。

2023年の通常国会では、2年前に市民の力で流れた出入国管理及び難民認定法(入管法)の改定案が殆ど同じ内容で再び審議されました。難民認定や在留許可を求める人に直接影

響を与えると危機感を募らせた市民は、声を上げられない外国籍住民たちに代わって必死に反対運動を繰り広げました。

でも、「なぜ仮放免の人が存在するのか」、「日本の難民制度の何が問題か」などを知らなければ法案の問題点は見えません。折しもそれを知り考える企画が、まさに「こども基金キャンペーン」に乗って仁川教会と夙川教会で行われた集会でした。

そこで仮放免の若者たちの声を聴いた人たちの多くが国会の審議内容に関心を持ち、それぞれが当事者を励ましつつ、「無理なくできる」行動をとってくださったのです。

改定入管法に「NO」の姿勢を示すため、署名を広め、スタンディングやデモに参加し、その声は日増しに大きくなり、国会前では連日シットイン（座り込み）が行われました。仮放免の皆さんはどれほど励まされたかと思います。日本の市民社会の後押しを受けて、5月には仮放免の若者たち自身が国会議員に向けて自分たちの置かれた現状を訴えました。



国会審議中に、「仮放免」のクルド人やペルー人の青少年たちが国会議員にアピール！

SNS やファックスを通じて最後まで国会議員に法案を通さないよう行動を起こしましたが、6月9日、残念ながら法案は強行採決されてしまいました。

法案が通ってしまっても、私たちは諦めないで、「難民が難民と認められる社会」、「日本で生まれ育った子どもたちが受け入れられる社会」の実現を信じて、昨日と同じく今日も、そして明日もずっと当事者とともに小さな歩みを続けます。

【国籍の枠を越えた教会の交わり】

2023年もまた、国籍や宗教の枠を越えて、多様な背景を持つ人びとがシナピス活動センターを訪ねてくれました。

1年間で出会った人々の出身国は…日本、韓国、中国、ベトナム、フィリピン、スリランカ、インドネシア、ミャンマー、バングラデッシュ、パキスタン、アフガニスタンなどのアジア諸国、中東のシリア、イラン、南米のペルー、ボリビア、コロンビア、ブラジル、そしてアフリカ大陸からはナイジェリア、カメルーン、チュニジア、ウガンダ、ガーナ、スーダン、

ケニア、エジプトと、実に 25 か国にも及びます。

そして忘れてはならないのが、世界のどの国からも法的保護を受けることのできない無国籍の人びとの存在と。こんなにもたくさんの人々が教会に来てくれたことに改めて感動を覚えます。

その一人ひとりに重い事情があり、関わる者の心を揺さぶる人間のドラマがあるのです。たった 1 年間で、25 か国の国や地域の人びとに出会えた豊かさに、感謝せずにはおられません。

さまざまな出会いの中で味わった喜怒哀楽を、ちょっとだけ…

悲しかったとき …… 本国に帰還できない難民のお母さんが亡くなったとき。

小聖堂でカトリックのミサとイスラムの祈りを融合させた追悼式を行い、みんなで肩を抱き合いました。

ヤバかったとき …… 不満やうっ憤を募らせた大柄な人が、いきなり丸腰の人に暴力を振るったとき。止めに入ったのはか弱いシナピスのスタッフたちで全く力にならず、最後は腕力のある男性が引き離しましたが、警察沙汰になる寸前でした。

嬉しかったとき …… 日本で生まれ育った仮放免の高校生とその両親に在留特別許可がおりたとき！！
「日本で人権が守られて暮らせるように！」と叫び続けた成果です。



日本で生まれたにもかかわらず、送還対象となっていたスルランカ人の高校生と両親に在留許可がおりました。

(12月12日)。朝日新聞の記事をお読みください。→QRコード

https://www.asahi.com/sp/articles/ASRDD5TGHRDDPTIL00Q..html?iref=com_top_Edu_01

ご寄付を下さる方、食料や支援物資を下さる方、収容施設へ面会に行ったり、通訳や翻訳、事務作業を手伝いに来てくださる方、そして、何より、祈ってくださる方。

すべてに感謝して新しい年を迎えたいと思います。

人を大事にする、この一点だけで活動する教会運動をこれからも続けてまいりましょう。

事務局 ビスカルド篤子



みなさまのご支援に、心より感謝申し上げます



■個人

2022年12月1日～2023年11月30日にご寄付いただきました方々

青木京子、赤澤雅子、浅田一美、浅野祐子、荒木奈津子、安藤悦子、生田千津子、池田公子、伊佐育子、去来川久代、石井淑子、伊藤、伊藤雅子、伊藤由香利、稲垣力・謙、井上佐治朗、今村操子、岩坂智美、岩崎旭、上田憲、上田利子、上田道子、上羽淑枝、内坂晃、馬詰、梅津祐子、浦口英子、榎本良子、大上尚子、大窪誠司、大倉一美、大竹みどり、大畑京子、大森真樹子、岡節子、岡登志子、岡本昭平、小栗安都沙、小田一俊、小中美幸、垣内純子、堅田晃英、鹿嶋節子、加藤章子、鎌田和政、神谷伸子、川口儀子、河崎淳子、川島洋一、川辺早百合、川本靖代、儀間亜紀、岸恵美子、北川光裕、北村、北村良子、橋高喜美子、衣笠さや子、木村道子、清田美和子、桐藤直人、金亜美、金城由莉、グエン・マイ・ティ、汲田廣子、倉田洋子、厨のぶ子、高スサンナ、幸前、河野昭信・鞠子、小島千鶴、小谷かおる、小森恵、近藤英子、サイエド、斉藤作子、佐伯喜代枝、酒井幾美、柴田千春、坂上玲子、坂本矩子、櫻井茂子、櫻田まり、佐々木尚代、佐々木美代子、佐藤和子、佐藤ちい子、佐藤美代子、三鍋真瑛子、敷島康雄、清水方恵、新穂寿子、新森良子、杉浦トミ子、杉本謙介・静子、杉本尚司、鈴木富士夫、関根順子、相井知代子、荘保共子、空野典子、高島正人、高瀬紀子、高橋明、高橋稜威子、田上慶子、滝井留都子、田口光雄、武井めぐみ、竹内恵理、武田隆雄、武和圭野、多湖敬子、瀧野正三郎、立石泰雄、田中純子、田中清嗣、田中隆子、田中仁、田波庸夫、玉田素子、田村悠紀栄、津崎哲雄、辻井元義、津田由貴、堤年弘、弦巻陽子、寺嶋操子、土器屋香代子、徳田昭子、徳山伸子、都倉久子、鳥羽知佳、冨田寿一、中上幸三、中嶋沙織、長瀬三千子、中出勝男、中西真也・澄子、中村和子、中村祥子、難波、西岡利延、西本裕、新田良子、能瀬由紀子、野間伸次、馬場克彦、濱岡、林宏、林淑子、原慶子、原勇三、春名美典、坂東大士、東野、平田ひろみ、平本利夫、廣里由紀子、廣本よしえ、深瀬嘉奈子、深田久子、福岡いさ子、藤井邦男、藤野貞子、藤巻次雄、藤本美穂子、坊上信子、堀幹子、前田佐和子、前村紀美江、真島理美、槇得美智子、舛野昌子、松浦謙、松浦信子、松重裕子、松下智子、松田そう、松永敦、待永直子、三島克己、三嶋敬子、三宅淳子、宮崎雅代、宮原直道、村田久美子、村田稔、村田雪江、村本須美、室橋孝子、目良、森口耀子、山崎裕子、山下和憲、山本明、山本保、山本ふみ、山本雅子、山本昌子、柚之原貴史、横井時宏、横見晶子、吉田恵子、吉谷順子、吉武ノブ子、芳野さとゑ、李先生、ルツ津々見富紗子（五十音順・敬称略）

■団体

アサンプシヨ国際小学校、朝祷会全国連合、王たるキリスト教幼稚園、大阪教区修道女連盟、大阪聖ヨゼフ宣教修道女会、大阪大司教区カトリックスカウト協議会、大阪同和・人権問題企業問題連絡会、大阪府国際交流協会、お告げのフランシスコ姉妹会生野修道院、小林聖心女学院、外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会、春日荘聖マリア幼稚園、加古川教会わかばの会、カトリック中央協議会、カトリック長崎大司教区、カトリック福岡司教区、関西いのちの電話事務局、京都暁星高等学校、クリスト・ロア修道会、賢明女子学院中学校、高知ボランティアビュウヤー、神戸海星女子学院マリア幼稚園、神戸学生青年センター、神戸地区社会活動委員会、さよなら原発の会、サレジオンシスターズ、師イエズス修道会、城星学園、人権教育セミナー実行委員会、吹田市国際交流協会、聖ザベリオ宣教会、聖ドミニコ宣教修道女会新居浜修道院、聖母被昇天修道会高松修道院、聖母奉献修道会、聖マリアの無原罪教育宣教修道会、聖ヨゼフ会園田修道院聖家族共同体、全国キリスト教学校人権教育研究協議会、出会いの家ミナミ、中北龍太郎法律事務所、日韓宣教協約委員会、日本キリスト教団京都教区教会と社会特設委員会社会セミナー、日本バプテスト宣教団池田キリスト教会、認定こども園香里幼稚園、ノートルダム女学院中学高等学校、姫路賢明女子学院、プール学院中学高等学校、ふっこうのかけ橋、フランシスコ会、ふるさとの家、マリア布教修道女会本部、箕面第二中学校、メルセル会、善きサマリア人修道会、ロザリオ幼稚園

■カトリック教会（小教区）

赤穂教会、芦屋教会、網干教会、生野教会、石垣教会、伊丹教会、大阪梅田教会、加古川教会、門真教会、岸和田教会、香里教会、金剛教会、夙川教会、鈴蘭台教会、住吉教会、関目教会、千里ニュータウン教会、宝塚教会、玉造教会、垂水教会、豊中教会、仁川教会、仁豊野教会、幟町教会、日生中央教会、姫路教会、枚岡教会、枚方教会、布施教会、三浦海岸教会、武庫之荘教会、桃山教会、龍神教会、六甲教会



平素よりシナピスの活動にご理解ご協力下さり、誠に有難うございます。

今年も1年間活動できましたのは皆様のご支援のお陰です。心より感謝申し上げます。

シナピスの活動はみなさまのご寄付によって成り立っています。

食品、家電、家具などの物品で支援して下さった皆様、
ボランティアで関わって下さった皆様にも感謝申し上げます。

どうぞ、よいクリスマス、新年をお迎えください。



活動へのご支援ご協力を
よろしくお願いたします。

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス



難民移住者への支援物資提供も
よろしくお願いたします。

米、ハラル食品、レトルト食品、油
テレフォンカード、レトルトご飯、缶詰



お電話をお待ちしています！

☎06-6942-1784

TELEPHONE
CARD

シナピス公式

さまざまなお知らせや情報を発信！
友達追加は 👉 QRコードから 👈



CATHOLIC.OSAKA.SINAPIS.



◀◀◀ HPはこちらから

<https://sinapis.osaka.catholic.jp>

ニュースレター配布停止ご希望の方は
シナピスまでお知らせください。



今年も一年間、ありがとうございました。

今年は、スタッフが少なくなって危機的な状況かと身構えましたが、ボランティアの皆さんや私たちの活動を支えてくださる皆様のお陰で、シナピスらしさを継続することができましたことを感謝いたします。

新年もどうぞよろしくお願いたします。

—シナピス休業と始業のお知らせ—

休業：12月28日(木)～1月8日(月)

始業：1月9日(火)

▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

◆広報活動

- ・教皇メッセージ、司教団メッセージ等社会活動の指針の伝達
- ・読者と教会内外の社会活動をつなぐ機関誌としてシナピスニュースを発行

◆大阪高松教区・社会活動委員会との連携

◆学習会研修会の企画

◆こども基金

世界・日本のこどもたちへの援助

◆日本カトリック司教協議会との連携

正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

◆人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

◆難民移住移動者支援

難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

アクセス

〒540-0004 大阪府中央区玉造 2-24-22

カトリック大阪高松大司教区事務局



●公共交通機関ご利用の場合

JR 森ノ宮駅より 約 1000m

地下鉄中央線森ノ宮 2 番出口より 約 800m

JR 玉造駅より 約 1000m

地下鉄長堀鶴見緑地線玉造 1 番出口より約 800m

●車でお越しの場合

阪神高速 13 号東大阪線法円坂出口

法円坂交差点南へ上町を東へ

活動へのご支援ご協力をおねがいたします

☐郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス

☐三井住友銀行 玉造支店 普通 9401958

カトリック大阪大司教区 シナピス

代表役員 前田万葉

☐オンラインはこちら →→→

